年　表　−明治−

年	学校	教育関連事項	県域事項	国内・海外事項
明治元年 （1868）	山口明倫館	長崎から英語通訳伊藤弥次郎を招き、山口明倫館兵学寮に英学科を新設 明倫館を文学・兵学の2寮にわける	鳥羽・伏見で幕府軍と戦い、以後戊辰戦争に出兵 藩治職制による改革着手	鳥羽伏見の戦　五箇条の御誓文 戊辰戦争開始。新政府、開国和親を布告 江戸開城、江戸を東京と改称
明治2年 （1869）		明倫館の小学規則などを制定し学制を改革する	長薩土肥の藩主とともに版籍奉還を建白 毛利元徳家督相続、山口藩知事に就任 大村益次郎死去 諸隊反乱（脱隊騒動）おこる。百姓一揆あいついでおこる	版籍奉還 東京遷都 戊辰戦争終結 スエズ運河開通
明治3年 （1870）	山口中学	中小学規則の公布により萩明倫館を萩中学に山口明倫館を山口中学と改める 諸郡の郷校を小学と改称、山口中学の管轄になる	議事館を藩庁と称し、以後常備軍編成・禄制改革すすむ 山口藩で藩治の職制を改革、政事堂を藩庁と民事局を郡用局と改称、大属等の諸役をおく	普仏戦争。（〜1871） 平民に苗字を許す
明治4年 （1871）		山口中学に独人ベルリンを雇いドイツ学伝習所を開設する 山口中学に外国人教師英人ダルネー夫妻を招請する	徳山藩を廃し、山口藩に合併 廃藩置県で山口県・豊浦県・清末県・岩国県の4県を設置 4県を改め山口県を置く。萩・岩国・赤間関に支庁を置く 山口藩庁を山口県庁と改称	戸籍法制定 新貨条例 廃藩置県 全国3府72県となる ドイツ帝国成立（〜1918）、ビスマルクが初代宰相に就任
明治5年 （1872）	山口変則中学	山口・萩・岩国・豊浦の4変則中学を設立 旧藩の学校廃止。山口中学は学規改更のため一旦停止する	全国にさきがけ医術試験を実施 地租改正に着手	学制制定 新橋・横浜間鉄道開業 太陽暦を採用
明治6年 （1873）	山口変則小学	4変則中学を廃し、山口変則小学・萩変則小学を設立	「山口県新聞」創刊 山口、赤間関などに電信局を開設 県庁に官民協同の県会（山口県議会の前身）を開設	郵便料金が全国均一となる（書状は市内1銭・市外2銭） ウィーン万国博覧会開幕（ − 10月31日），日本が初めて公式参加
明治7年 （1874）	鴻城学舎／教員養成所	山口・岩国に教員試験場を開設 山口教員養成所及び同付属小学を設置。 山口・萩両変則小学を鴻城学舎・巴城学舎とする	山口医院（旧、山口好生堂）を三田尻にうつし、華浦医院と改称する 中野悟一、山口県令となる	讀賣新聞創刊
明治8年 （1875）		鴻城学舎・巴城学舎を毛利家の私立とする	広島歩兵第15大隊、山口に分屯 旧長府藩主の寄付により私立豊浦学舎創立	京橋の凮月堂がビスケットの販売を始める。
明治9年 （1876）			山口裁判所開庁 10月26日前原一誠らにより萩の乱おこる。12月3日鎮圧。前原一誠処刑	家禄制度廃止 グラハム・ベルが電話機を発明 東京女子師範学校附属幼稚園（現・お茶の水女子大学附属幼稚園）開園（日本初の幼稚園）
明治10年 （1877）	山口県師範学校	山口県教員養成所を山口県師範学校と改称	鴻城新聞創刊 木戸孝允死去 萩に県下最初の器械製糸場を設立 華浦医学校廃校	西南戦争 第1回ウィンブルドン選手権 アメリカのエジソンが蓄音機を発明
明治11年 （1878）	私立山口中学校／山口栽培試験場	山口市白石に山口栽培試験場開設 鴻城学舎を私立山口中学校、巴城学舎を同萩分校と改称		
明治12年 （1879）			第１回県議会開く 県下2ヶ月にわたりコレラ流行	大阪で朝日新聞創刊 琉球藩廃止され、沖縄県となる 学制廃止、教育令を制定 エジソンが白熱電灯を発明
明治13年 （1880）	山口県山口中学校	県下を5学区に分け、岩国・徳山・山口・豊浦・萩に県立中学校を設置 山口県、私立学校条例制定	馬関物価日報創刊 華浦医学校を再興、山口県医学校と改称	改正教育令
明治14年 （1881）			竜福寺全焼 笠井順八ら小野田にセメント製造会社を設立 山口に士族製糸伝習所を設置 中村ユス創設の裁縫場を中村裁縫伝習所	明治生命創業(日本初の生命保険会社)
明治15年 （1882）		山口県教育会設立		上野動物園開園 サグラダ・ファミリア教会建設開始
明治16年 （1883）		山口県中学校諸則の制定 農学校通則公布 山口栽培試験場内に農事講習会を開設	内務省、下関に気象観測所を開設、明治20年4月下関測候所と改称 山口に山口県病院を新築 柏木幸助、検温器製造法を発明	官報第1号を発行 天気予報開始 オリエント急行開通 鹿鳴館開館

				教育関連事項	県域事項	国内・海外事項
明治17年 （1884）	山口県山口中学校			萩・豊浦・徳山・岩国の4中学校を山口中学校の分校に 山口県師範学校に女子師範学科を設置 防長教育会の設立（毛利元徳らの主唱） 山口栽培試験場内に獣医講習会を開設	「防長新聞」創刊（吉富簡一）	
明治18年 （1885）		山口農学校	山口師範学校	山口県師範学校を山口師範学校と改称 農事講習所を廃し、山口農学校開校 獣医学科設置	明治天皇山口へ行幸 元大審院長玉乃世履自殺	内閣制度創始。伊藤博文初代内閣総理大臣となる。（外務井上馨、内務山県有朋、司法山田顕義、法制長官山尾庸三） 日本銀行券発行開始（拾圓券）
明治19年 （1886）	官立山口高等中学校		山口県尋常師範学校	山口師範学校を山口県尋常師範学校と改称 山口中学校を山口高等中学校とし、文部省の所管とする	県令を県知事と改称	小学校令・中学校令・師範学校令公布 「帝国大学令」公布。東京大学を帝国大学と改称
明治20年 （1887）				山口早間田に私立山口女学校（山口中央高校前身）開校		中央気象台発足
明治21年 （1888）					日本赤十字社山口支部創立 狩野芳崖死す	「君が代」を国歌と定める
明治22年 （1889）				鴻城義塾創設	馬関新聞の創刊	「大日本帝国憲法」「皇室典範」発布 第1次山県有朋内閣成立 東海道本線開通
明治23年 （1890）				山口農学校を大内村氷上に移転		第1回衆議院議員選挙行われる 教育勅語発布
明治27年 （1894）	官立山口高等学校			「高等学校令」公布（高等中学校を「高等学校」改称・改組） 山口高等中学校を山口高等学校と改称	防府市中関に三田尻製塩売捌所を設立	日清戦争起こる
明治28年 （1895）		山口県農学校		山口農学校を山口県農学校と改称 防長教育会経営の山口学校を尋常中学校に	日清戦争の講和条約、赤間関春帆楼にて調印	台湾総督府開庁
明治29年 （1896）					防長実業新聞の創刊 山口県農事試験場が大内村（山口市）に設立 赤間関に関門汽船株式会社が創立	第1回オリンピック開催（アテネ） 明治三陸大津波（死者2万名）
明治30年 （1897）					初の県会議員選挙を施行 渡辺祐策、宇部沖ノ山炭鉱会社を設立 山陽鉄道広島−徳山間の開通 歩兵第42連隊山口に	帝国図書館開館 「師範教育令」公布
明治31年 （1898）			山口県師範学校	山口県尋常師範学校を、山口県師範学校と改称	山陽鉄道徳山−三田尻間開通	児玉源太郎が台湾総督に就任
明治32年 （1899）		山口県農業学校			柏木幸助ジアスターゼを発見	中学校令改正、実業学校令、高等女学校令公布
明治33年 （1900）						未成年者喫煙禁止法公布（4月1日施行）
明治34年 （1901）		山口県立農業学校		山口県農業学校を山口県立農業学校と改称	山陽本線全線開通	第1回ノーベル賞
明治35年 （1902）				私立山口県教育会設立	赤間関市を下関市と改称	八甲田雪中行軍遭難事件
明治36年 （1903）					山口県立山口図書館開館	ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功
明治37年 （1904）						日露戦争始まる
明治38年 （1905）	山口高等商業学校			山口高等学校を山口高等商業学校に改称 防長女子教育会の創立	山陽鉄道会社、下関～釜山間の連絡航路開始	日露戦争講和条約調印
明治40年 （1907）						小学校令改正。義務教育が6年間となる 南満州鉄道開業
明治41年 （1908）					山陽鉄道、国立鉄道となる 皇太子山口行啓 山口高商英語教師ガントレット、阿武川上流の峡谷美（長門峡）を世に紹介。夏	第2次桂内閣成立。外務寺内正毅
明治42年 （1909）					専売局、三田尻製塩試験場を設置	伊藤博文、ハルピン駅で暗殺
明治43年 （1910）				県立農業学校を小郡に移転	防府電灯・宇部電気・萩電灯会社を設立	韓国併合、朝鮮総督府設置
明治44年 （1911）					下関に秋田商会創立	西田幾多郎『善の研究』刊 帝国劇場開場（日本初の洋式劇場）
明治45年 （1912）				山口県教育会、私立防長教育博物館を設置		第5回オリンピック（ストックホルム）開催、日本選手初参加 明治天皇崩御、大正と改元

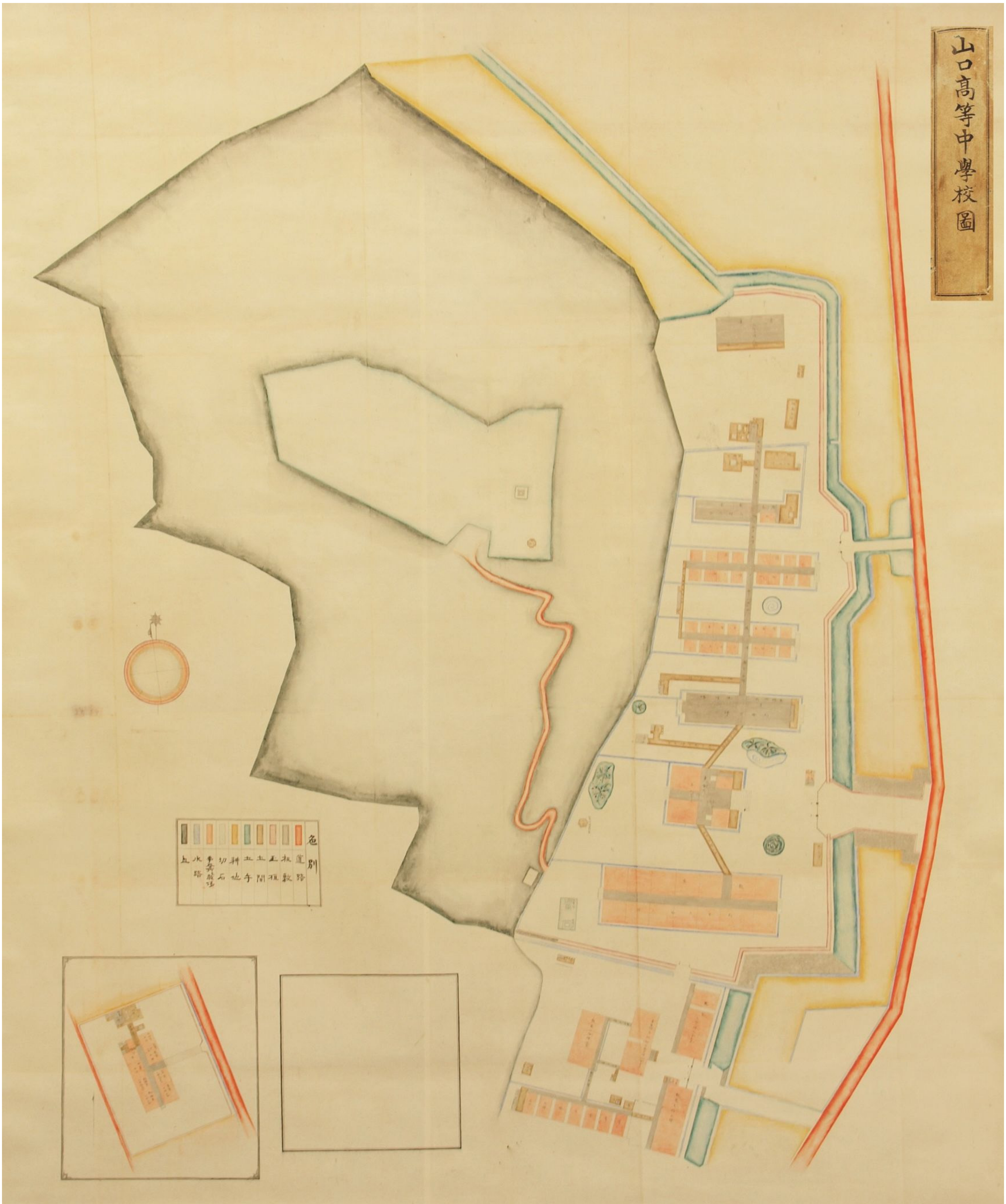
参考資料

山口大学図書館所蔵

山口大学三十年史 / 山口大学30年史編集委員会編　山口大学,1982
山口高等商業學校沿革史 / 山口高等商業学校 [編],1940
花なき山の… / 鳳陽会編　2005
学友　山口高等中学校
椹野の流れ / 毎日新聞山口支局編　山口大学教育学部同窓会,1983
奮発震動の象あり : 防長教育史の人びと / 松野浩二著--山口 : 鳳陽会,2005
河内信朝先生小傳　作間鴻東編
防長教育会百年史 / 防長教育会編,1984
山口県教育史 / 山口県教育会編,1986
図説山口県の教育100年 : 学制発布100年記念 / 山口県教育委員会著　1972
山口縣文化史 / 山口県総務部学事広報課編,1959
山口県の教育史 / 小川國治, 小川亜弥子共著,2000
山口県師範教育の遺産 / 村山英雄編著,1982
山口縣師範學校創立六十年史
山口県立山口農業高等学校百年史 : 開校百周年記念 / 山口県立山口農業高等学校百年史編纂委員会編著,1987
山口県の歴史　山口県　1967
山口市史　通史篇　1955,
山口県植物誌 / 岡国夫ほか編　山口県植物誌刊行会,1972
昭和山口県人物誌 / 中西輝磨著,1990
写真集明治大正昭和山口 / 内田伸編　国書刊行会,1979
光地方歴史物語 : 光熊毛大和の今むかし / 原田一恵 [ほか] 著,1979
長州閥の教育戦略 : 近代日本の進学教育の黎明　-- 九州大学出版会,2006
日本の弁護士 / 潮見俊隆編著,1972
河上肇 : 日本的マルクス主義者の肖像 / ゲイル・L. バーンスタイン著 ; 清水靖久, 千本秀樹, 桂川光正訳,1991
自叙伝 / 河上肇 [著] ; 杉原四郎, 一海知義編 岩波書店,1996
経済人 / 日本経済新聞社編 9: 鮎川義介・松田恒次・北沢敬二郎・久保田豊・井上五郎・法華津孝太
鮎川義介伝 : 夢をひらく男 / 小沢親光著 山口新聞社,1974
直筆で読む「坊っちやん」/ 夏目漱石著 集英社,2007
坊っちゃん / 夏目漱石作　岩波書店,2002
『坊っちゃん』とシュタイナー : 隈本有尚とその時代 / 河西善治著　ぱる書店,2000
若き西田幾多郎先生 : 「善の研究」の成立前後 / 下村寅太郎著　1947
西田幾多郎 : 人間の生涯ということ / 上田閑照著 岩波書店,1995
明治高等教育制度史論 / 神立春樹著　お茶の水書房,2005
日本獣医学教育史　/　篠永紫門著　1972
旧制高等学校教育の成立 / 筧田知義著　1975
明治の教育 / 仲新著　1967
日本新教育百年史 / 小原國芳編　7 : 中国・四国　玉川大学出版部,1969
山口県地方史研究
日本の教育史学 : 教育史学会紀要　37号
西日本工業大学紀要　38巻
岡山大学経済学会雑誌　27巻1号
防長教育会沿革史抄　/　防長教育会　1980

山口県文書館所蔵

中小学章程　学喩
学制
山口県布達　明治7・8年


山口高等中學校圖
色別
道路
校敷
土間
土手
耕地
切石
水路
丘

山口高等中学校時代の面影を残す石垣（現：パークロード）

創基 200 周年

山口大学の来た道 2

企画　山口大学図書館

200th Anniversary
YAMAGUCHI UNIVERSITY
「志」つなぎ 伝える
二百年